

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日（土）～12日（日）

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

プレコンgresワークショップ 3	
企画名	混合研究法を用いたプライマリ・ケア研究をデザインしよう
日時	2016年6月10日（金） 13:30～15:00
会場	第10会場（台東区民会館 8階 第3会議室）
企画責任者	井上真智子（浜松医科大学地域家庭医療学講座／静岡家庭医養成プログラム）
定員	24名
開催の目的・概要	
【開催の目的】 プライマリ・ケアの研究を行う上で、混合研究法を用いたデザインの活用方法を理解する。	
【概要】 プライマリ・ケア医が日常直面する複雑な問題の解決においては、高度な研究スキルを必要とする場合がある。混合研究法は、量的データおよび質的データの収集、分析、そして統合を行う研究方法であり、プライマリ・ケア研究者の間で近年世界的に多く用いられるようになってきた。本ワークショップは、参加型で双方向のディスカッションを通して、混合研究法のデザインについて学ぶものであり、以下のことを目標とする。 1) 混合研究法を用いた研究の基本を理解する 2) 自分の関心のあるトピックについて混合研究法を用いたリサーチクエスチョンを考える 3) そのために適切な質的および量的なデータの収集源について検討する 4) 混合研究法のデザインの種類について理解する 5) 自身のリサーチクエスチョンに適した混合研究法デザインを選択する これらを通し、参加者は個々の研究計画とそのデザイン図を作成することを体験する。	